



2022 年 9 月 1 日
Special Issue

2020 年の年明けから広がったコロナ禍。

LiLian の活動も制限され、リブレターの発行がままならない時期がありました。

そんな中でも、リブレターを担当してくれた LiLian たちは、知恵を絞りアイデアを出し合って書いた原稿を残して卒業していきました。

それから 2 年以上が過ぎ、何とかその原稿をみなさんにお届けしたいと思い、特別号を発行することにしました。

マスク着用の必要がなくなる時を待ちつつ、LiLian たちの会話をお楽しみください。

いつもとは違うリブレター特別号をお読みいただけたら幸いです。

なお、学年は原稿作成時のままを表示しています。

～ Special Issue ラインナップ ～

LiLian Special Info.

LiLian の魅力や思い出を語ります

文豪履歴書

太宰治 編

宮沢賢治 編

LiLian Special Info.

OG × OG

～LiLian の魅力や思い出を語ります！～



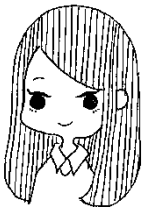
ちひろ

こんにちは！LiLian OGのちひろです。
LiLian の活動や魅力について語っていきたいと思いますので、よろしくお願いします！

既読

15:16

同じく OG のあやねです(^^)
LiLian では色々な活動をしてきましたね！
印象に残っている活動、何かありますか？



あやね

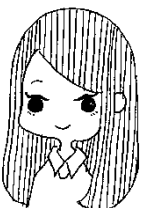


どんな活動も印象的ですが、特に印象的なのは、金城祭！
金城祭では2日間の準備期間を経て、当日に古書店の運営とワークショップを開催します。LiLian 全体で活動するので、普段あまり関わる機会のない他学部・他学年の人と一緒に活動できて、さらにお客さんにも喜んでもらえて、やりがいを感じました！

既読

15:17

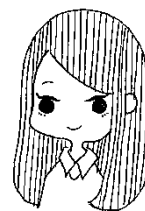
金城祭、楽しかったですよね！
1つの教室がお店に変わっていくのもワクワクしたし、
たくさんのお客さんに来ていただいて「楽しかったよ」
と言っただけなのも、嬉しかったです(^^)



あやねさんは何か印象に残っている活動はありますか？

既読
15:18

私は選書会が印象に残っています。
プライベートで本屋さんに行くときは、欲しい本があるコーナーへ行くことがほとんどなのですが、選書会では様々なコーナーを見て回るので、新しい本にたくさん出会うことができます。
私は選書会で出会った本が、卒業論文で取り組んだテーマを選ぶきっかけになりましたよ！



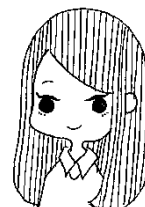
選書会ではなかなか読まない本を読むきっかけになることもありますね。
私も、選書会で好きな本に出会って卒業論文で使用しました！



LiLian では学内外での活動を通して、いろいろな人と本との「出会い」があるところが魅力のひとつですね！
あやねさんは、どんなところがLiLianの魅力だと思いますか？

既読
15:19

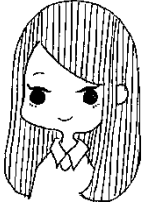
自分らしく、のびのびと活動ができる場所だと思います。
私は工作や人前で話すことに、ものすごく苦手意識をもっていました。でも、本当にのびのびと自分らしく活動できたので、思ったよりも苦手でないのかもしれないと思えるようになりました。



たしかに、のびのびと活動できましたね！
振り返ってみると、LiLianは活動を通して、楽しみながら成長できる環境だったと思います。
LiLianにはいろいろな魅力が詰まっていた☆

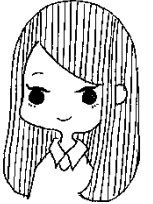
既読
15:20

楽しみながら活動できて、自分の成長にも繋がる
というのはなかなかないですね。



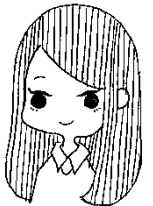
既読
15:21

ところで、現在コロナ禍ということもあって、対面での活
動が難しい状況ですが、私たちはオンラインで活動が続け
てきましたね。
オンラインでの活動も、これまでとは違う楽しさがありま
したよね(^_^♪

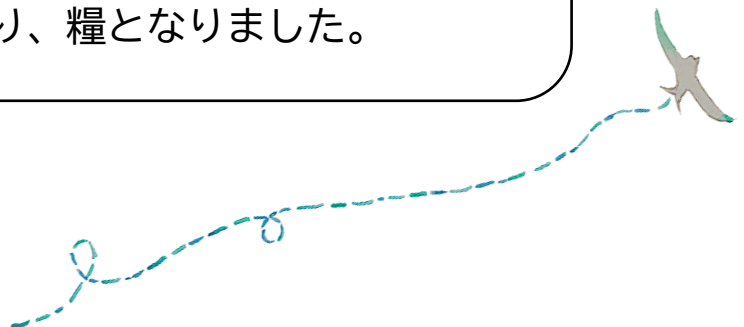


コロナ禍で直接会う機会がほとんどない中、
オンラインでも話せると嬉しいですね。
それに、家でリラックスして話せるのも魅力的
です。電子書籍を購入した選書会は特に印象的
でした。

私も印象に残っています！
選んだ電子書籍が図書館のHPから見られるようにな
った時には、いつもと違う楽しさがありました。



LiLian では新しいことに挑戦したり、好きなこ
とに取り組んだり、のびのびと自分らしく活動
することができて、4年間の大学生生活での
大切な思い出となり、糧となりました。



文豪履歴書×青空文庫企画

【青空文庫とは】

青空文庫とは、誰でもアクセスできるインターネット上の図書館のようなサイトです。
著作権の消滅した作品と「自由に読んでもらってかまわない」とされた作品が電子化され、スマホなどからいつでも読めます。

昔の文体が苦手、という方でも「新字新仮名づかい」のデータは読みやすくなっているのでおすすめです！

新型コロナウイルスの影響で図書館に足が運べない方や、おうち時間が増えた方も多いのではないのでしょうか。LiLian が青空文庫の中からおすすめの本を文豪のプロフィールとともに紹介します！



青空文庫 HP




太宰治／走れメロス



宮沢賢治／
注文の多い料理



| | | | |
|---|-------------------------------|--|-----|
| ふりがな | ださい おさむ | | 性 別 |
| 氏 名 | 太宰 治 | | 男 |
| 生年月日 | 1909(明治 42)年 6 月 19 日 | | |
| 没年月日 | 1948(昭和 23)年 6 月 13 日 (38 歳没) | | |
| 出 身 地 | 青森県北津軽郡金木村大字朝日山 414 番地 | | |
| 年 | 年 齢 | 主な作品初出 | |
| 1926 年 | 17 歳 | 『口紅』(同人誌『青んぼ』 創刊号) | |
| 1934 年 | 25 歳 | 『ロマネスク』(同人誌『青い花』 創刊号) | |
| 1935 年 | 26 歳 | 『逆行』(『文藝』 第 3 巻第 2 号) | |
| 1936 年 | 28 歳 | 『晩年』(砂子屋書房) | |
| 1939 年 | 31 歳 | 『富嶽百景』(前半『文体』 第 2 巻第 2 号、後半第 2 巻第 3 号) | |
| 【参考文献】 『太宰治全集』 ちくま文庫 請求記号：918.6/D49/2 c (1)(2)/B5 | | | |





作品紹介書

| | |
|--|-------|
| 【紹介する作品】 | 走れメロス |
| 【作品のあらすじ】 メロスは邪智暴虐の王の政治に腹を立て直接話に行く。処刑されることが決定するが妹の結婚式のために 3 日の猶予を貰う。その間逃げ出さぬように友人のセリヌンティウスを人質にして王の元に置いておく。メロスは妹の結婚式を見届けセリヌンティウスのために走る。途中数々の苦難にあいながらも親友のために走る、走る、走る。 | |
| 【おすすめポイント】 太宰治の作品は、暗く取っつきにくい印象ですが、『走れメロス』は初めての人でも読みやすいと思います。メロスの走る様子から、親友に対する思いや大切なことは何なのかを汲み取ることができます。作中に「人を疑うことは最も恥ずべき悪行だ」というセリフがあります。私たちは時に人を疑ってしまうこともありますが、『走れメロス』は人を信じることの大切さを教えてくれます。 | |



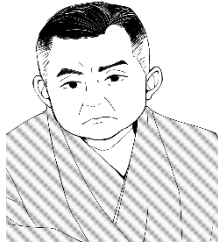
| | | |
|---|-----------------------------|--------------------------------|
| ふりがな | みやざわ けんじ | 性 別 |
| 氏 名 | 宮沢 賢治 | 男 |
| 生年月日 | 1896（明治 29）年 8 月 27 日 | |
| 没年月日 | 1933（昭和 8）年 9 月 21 日（37 歳没） | |
| 出 身 地 | 岩手県稗貫郡里川口村川口町 303 番地 | |
| 年 | 年 齢 | 主 な 作 品 初 出 |
| 1924 年 | 28 歳 | 心像スケッチ『春と修羅』（関根書店）を自費出版 |
| 1924 年 | 28 歳 | イーハトヴ童話『注文の多い料理店』（杜陵出版部、東京光原社） |
| 1924 年 | 28 歳 | 『銀河鉄道の夜』初稿成立 |
| 1926 年 | 30 歳 | 「オツベルと象」（尾形亀之助編集『月曜』） |
| 1931 年 | 35 歳 | 「風の又三郎」執筆 「雨ニモマケズ」手帳に書き留める |
| 【参考文献】 『宮沢賢治全集 8』ちくま文庫（1986） 請求記号：918.6/Mi89/3d(8)/B5 『年表作家読本 宮沢賢治』山内修 編 河出書房新社（1989） 請求記号：910.268/Mi89/42 | | |



作品紹介書

| | |
|---|----------|
| 【紹介する作品】 | 注文の多い料理店 |
| 【作品のあらすじ】 イギリス風の青年紳士 2 人は、山奥に狩猟にやってきました。そこで 2 人は西洋料理店を見つけます。そこには「当軒は注文の多い料理店ですから……」という注意書きがいくつかあり、紳士たちは中に入ります。店の中にはいくつもの扉があり、扉には「髪をとかして、履き物の泥を落とすこと」「金属製のものを全て外すこと」という客への注文が書かれていました。2 人は怪しむことなく注文に答えて進んでいきますが、だんだん店の目的に気づいていきます。 | |
| 【おすすめポイント】 『注文の多い料理店』は、誰もが一度は読んだことのある有名な童話ですが、店からの多い注文に答えていく紳士 2 人の様子は覚えていても、物語の最後がどうであったか覚えている人は少ないように感じました。特に犬について注目して読んでみて下さい。改めて作品を読んでみると、時間を経て感じ方が異なると思います。以前はどんなふう感じたのか、振り返りながら読んでほしい作品です！ | |

Who I am ?!



Do you understand?

